

# 萩原町連区

## 地域づくり協議会準備委員会だより

第2号

発行日：平成22年10月1日 発行者：萩原町連区地域づくり協議会準備委員会

一宮市萩原町萩原字河原崎79番地（萩原町出張所内） 電話：28-9009

### 盛会だった萩原町エリアミーティング

谷一夫・一宮市長が基調講話

### 萩原町の特徴を生かした新しい地域づくり

萩原町地域のあり方を模索・検討する「萩原町連区地域づくり協議会準備委員会」が発足したことを機に、去る8月25日、旧看護学校講堂に一宮市長の谷一夫氏を招き、萩原町エリアミーティングを開催しました。当日の参加者は90名にも及びました。

谷一夫・一宮市長の基調講話をお聞きしたあと、お出かけいただいた萩原町連区のみなさんから、地域づくり協議会への期待や、萩原町の現在そして将来へのいろいろな想いなどをお聞かせいただきました。

萩原町の現在の姿を見つめつつ、これからの萩原町の新しい地域づくりについて、有意義なお話し合いができたと思います。

#### 基調講話(一宮市長・谷一夫氏)

市長として一番大きな目標は、一宮をもっと元気なまちにしたいとの想いです。どうしたら元気になるのか。その具体的な取り組みのひとつがこの「地域づくり協議会」です。

地域や、市民一人一人が元気になることは、一宮が元気になる根本でもあると思います。

もうひとつの提案として、これからの日本の人口は減少傾向にあり、老人の割合が増えていく社会となったときに、将来の地域社会を支える新しいしくみづくりが必要と考えたからです。

現在、一宮市では、連区制を導入していますが、昭和の大合併後の導入から月日も経ち、制度疲労が感じられます。連区制を維持しつつも、連区制とは別に、新しく違ったテーブルを用意したものが地域づくり協議会です。

地域には、老若男女、いろいろな方が住んでみえます。地域づくりは、皆が子・孫・将来のために自らが積極的に参加し、知恵を出し合っていくしくみと考えてほしいと思います。今は縦割りで各課から予算配分がされていますが、地域づくり協議会には、これをひとつの器に入れて配分されます。

地域で活動しているさまざまな組織の方々が集合し、同じテーブルの中で話し合いをする機会を作ることにより、お互いの事業を見直し、整理するなど、各事業に濃淡をつけ、経費の節減や、地域の特徴を生かした新規事業を行っていただくことも可能となります。

運営については、急ぐ必要はなく、話し合うテーブルができさえすれば、後はそれぞれ

の地域のニーズに合わせて、柔軟な対応をしてもらえばいいと思います。

将来の高齢化社会のために、今から準備が必要であり、そのときになってあわてないよう、地域の今の課題を見据え、また将来の課題も見据えて、地域づくりに取り組まないといけないと考えています。

萩原町では、準備委員会に学校の先生が参加されていて、これはすばらしいこと。学校は地域の核となるところであり、地域のためにぜひアドバイスをいただきたいと思います。

青少年の健全育成は、地域にとって重要な問題であり、学校からも発信をしていただきたいと思います。

今日は、若い方や女性の方も来ていただいております、とてもよいことと思います。

地域づくり協議会が発足した折には、ぜひ参加していただき、この協議会が楽しい話し合いの場となり、たくさんの若い方にも関わっていただけることを願っています。

### 発言要旨

○地域の活性化は必要だが、現状は消極的と感じる。これからの地域づくりに期待する。

A地域づくりでは、たよりを発行して地域の情報を発信し、皆に知ってもらうことも重要。

具体的な活動が始まると、内容が皆に見えてくる。少しずつ積み上げていくことが大事。

○この制度はずっと継続して実施されるのか。予算的にはどうか。

A議会でも承認されており、政策的にも予算のうえでも、継続されると思っている。

○有名な観光資源だけではなく、地域のいろいろな観光にも力を入れてほしい。

A現在、萩原町では、美濃路街道の整備を行っているが、意見として伺う。

○中学生のヘルメットの着用や、交通マナーの指導をしてほしい。

A指導には学校だけではなく、家庭、地域と一緒に考えることが必要。このような問題は、地域づくり協議会のテーマにもなる。話し合いの場を作り、皆で解決してほしい。

○どんな萩原にしたいのか見えてこない。地域づくりが機能するには、真剣に考えて足元を見直し、子供たちが夢や希望を持てるよう大人たちが良い萩原のまちづくりをすべき。

A先行事例もあり、地域づくりに職員が全力でサポートしていく。今日のアンケートの質問にこれからのヒントがあると考え。その回答内容によって先が見えてくる。

○萩原町は大きな田舎であると同時に、便利なところでもある。何よりも協調性があり、この特色を生かした地域づくりを進めてほしい。一括して予算配分されるならば、それをまとめる部署をつくり、その中で調整をし、地域へのサービス提供をしてほしい。

○地域づくりが意外と早く進んでいると感じた。地域の方が、真剣に取り組んでいることがわかる。部会を立ち上げた時は、横の連携も取り、リーダーシップを発揮してほしい。

(限られた文字数のため、要旨が充分記載できなかったことを謝す。)

### \*萩原町連区地域づくり協議会準備委員会活動状況

5月25日 社会福祉協議会萩原支会開催時地域ふれあい課から趣旨説明

6月14日 エリアミーティング開催決定、「たより」発行検討

7月15日 エリアミーティング開催内容協議、アンケート・「たより」の内容協議

8月 1日 「たより」創刊号全戸配付

8月25日 エリアミーティング開催、アンケート調査

9月16日 地域づくり協議会組織図(案)と「たより」第2号の内容協議